

令和7年度 第4回 札幌方面豊平警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和8年2月18日(水) 午後3時30分から午後4時40分までの間

2 開催場所

札幌方面豊平警察署 3階道場

3 出席者

(1) 協議会委員 9名(定員11名)

会 長 埜本 麻名

副会長 北川 洋一

委 員 今藤 亜矢子、山本 典子、神山 明弘、早瀬 京太、佐藤 未帆、
向 俊孝、杉岡 洋子

(2) 豊平警察署6名

署 長 屋代 芳彦

副署長 板垣 孝謙

刑事・生活安全官 大嶋 康弘

地域官 荒川 淳

交通第一課長 牧野 精幸

警務官 安藤 伸一(事務局)

4 開 会

5 会長挨拶

6 署長挨拶

7 議 事

(1) 犯罪情勢について

(2) 交通事故等情勢について

(3) 議事に関する委員からの要望・意見

<詐欺被害の防止について>

(委員からの要望・意見)

- 第3回警察協議会で質問した、民生委員としての活動において電力会社に関係する電気設備の修理契約の話をお年寄りから聞き、その真偽について不安に思っていたことについて、豊平警察署から調査結果を教えてくださいました。

修理サポートに関わる契約というものが実際にあり、詐欺ではないことがわかり、不安の解消になりました。

正しい情報をもとに生活相談、高齢者の詐欺被害の防止に活かしたいと思います。

(警察回答)

第3回の警察協議会で質問のあった電気事業者との修理契約にかかる郵便物については、実在する修理契約であることが確認できました。

正規の企業活動による修理契約の案内封書と判明しましたが、電力会社との直接契約ではないことについて、高齢者の方に理解できるように注意が必要であること

から、今後も地域の情報提供をお願いします。

有名企業の関連会社を騙るなど、詐欺の手口が変化していくことにも警戒が必要であり詐欺被害防止にご協力をいただきたい。

(委員からの要望・意見)

- 詐欺の被害件数、被害額が昨年から増加しているが、その原因は何か。

(警察回答)

従来から被害防止対策を推進してきた高齢者による詐欺被害だけでなく、20歳から30歳代の被害者の増加が、被害件数・被害額の増加につながっている。

預貯金の運用・投資目的で資産をだまし取られたり、インターネットショッピングによる詐欺被害など、若い世代に被害が多い詐欺手口についても、防犯啓発活動を推進していく。

また、警察を騙る詐欺や、被害者が詐欺の犯人と知らずにその相手との複数回のやりとりのなかで、犯人に親和性をいだき、詐欺と気付かず、何度もお金を騙し取られるなど、犯罪手口の複雑化・巧妙化についても周知していきたい。

<清田区内のわいせつ事案の検挙防犯について>

(委員からの要望・意見)

- 昨年は、痴漢・つきまといなど、わいせつ事案の発生が続いた時期があったが、犯人を捕まえていただき不安が解消された。感謝したい。
- 治安向上のため、清田区にも清田警察署を建設して欲しい。

(警察回答)

被害者や住民の協力により、犯人検挙にいたり被害拡大の防止ができた。

今後も住民等の協力を得て事件の早期解決・犯罪の抑止、体感治安の向上を推進し豊平区・清田区を管轄とする警察署として安全なまちづくりに貢献したい。

<違法駐車交通取締り対策・交通安全施設・設備について>

(委員からの要望・意見)

- 大雪や排雪の遅れで冬期間は道が狭く、車の通行や、除雪の際に違法駐車障害となっている。
- 清田区・豊平区の町内会では、除雪の妨害となる駐車車両に対して、交通係や交番・土木センターなどの協力を得て、違法駐車禁止の声掛けなどの運動を長年続けており、違法駐車は減少し、成果を感じている。今後も協力して欲しい。

(警察回答)

違法駐車については、交通指導取締りをするとともに、住民とともに協力して啓発活動を推進していきたい。

- 清田区内では、道路標識・表示が薄くなったり、交通量の多い場所への信号機設置など交通安全設備の維持整備の必要性を感じている。

今後2029年度完成予定の清田区役所前広場への区民センター移設に伴い、交通量の変化が予想され、安全利用・交通事故防止のため、豊平警察署からも交通安全設備・信号機の設置について働きかけをして協力して欲しい。

(警察回答)

交通安全施設については、交通事故防止のため、住民・行政と情報を共有し、危

険性・緊急性の高いものから対応したい。

8 諮問事項

「令和7年度における豊平警察署活動と、今後の警察活動に対する意見・要望」

(委員からの答申)

- 色々な地域住民の関わる行事・諸問題において、警察署・行政（区役所・土木センターなど）とも話し合い、協力体制をもって町を盛り上げていきたい。
- 区役所や行政として防災イベントなどで人出がある機会に、警察署とタイアップして各種防犯・啓発活動に協力したい。

(警察回答)

今後も、地域住民・地域企業・行政との情報共有・協力体制を重要視し、警察活動への理解と協力を賜りたい。

(委員からの答申)

- 高齢者などにも情報が伝わりやすいように、詐欺被害防止の寸劇出前講座など、会話の中で防犯指導をしてもらえると浸透しやすい。
- 話を聞くだけでなく、興味を持つような面白さがあったり、考える機会を設けるような参加型の防犯・啓発活動が効果的だと思います。
- 詐欺手口が多様化し、その手口も変化してしまうことを聞き、警察と、バス、タクシーなどの地域を走る交通機関などと連携して、新しい情報を取り付け・外しが容易なマグネットシート型のポスターにして車体に貼り、啓発活動をしてはどうか。
- 地域の商業施設には、金融資産の形成に関心がある若い世代、子育て世代が集まるため、若い世代に詐欺手口の周知や防犯啓発活動に協力できると思います。

(警察回答)

委員の皆様のご意見を参考に、若い世代や高齢者など、それぞれの世代にターゲットを絞った効果的な方法を検討し、地域住民・企業・行政などの協力をいただき、実効性のある防犯活動を推進していきたい。

9 報告事項

なし

10 次回の諮問事項等

(1) 開催予定

令和8年6月中旬の予定

(2) 諮問事項の事前周知

次回諮問事項は、今回の答申の内容を反映させ事前周知する。

11 閉 会